

## 双葉地域の医療需要の検討

## 双葉地域の想定患者数の試算

中核的病院の診療科や規模検討の前提として、双葉地域全体のすべての傷病に関する入院患者数を1日500人余り（2045年頃）、外来患者数を1日2,300人余り（2035年頃）と想定する。

※患者数算定の基礎となる人口規模については、双葉郡の各町村がこれまで策定した復興計画等で想定している人口約32,000人（2035年頃）を基本に、福島イノベーション・コースト構想の更なる推進や移住等の促進など、復興関連施策の進展に伴い、新たに転入が見込まれる人口を加味した38,000人余りと仮定した。当該人口規模に、全国の受療率（人口10万人当たりの入院・外来患者数）を乗じることで、想定患者数を算出した。

## 想定される傷病

想定患者数における傾向（全国にお	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 入院は「<u>がん（消化器系）</u>」、「<u>循環器系疾患（心不全、脳内出血、脳梗塞等）</u>」、「<u>外傷等（頸部や胸部、大腿骨の骨折等）</u>」、「<u>呼吸器系疾患（肺炎等）</u>」が多い。</li> <li>▶ 外来は「<u>循環器系疾患（高血圧性疾患、脳梗塞等）</u>」、「<u>筋骨格系疾患（脊椎障害、関節症等）</u>」、「<u>呼吸器系疾患（喘息、気管支炎等）</u>」、「<u>内分泌系疾患（2型糖尿病、高脂血症等）</u>」が多い。</li> </ul>
入院状況の分析結果（レセプトの区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 入院は、「<u>がん（消化器系）</u>」、「<u>循環器系疾患（脳梗塞、脳内出血等）</u>」、「<u>筋骨格系疾患（脊椎障害、関節症等）</u>」が多い。</li> </ul> <p>※平成31年4月から令和4年7月までの双葉郡8町村のKDBデータ（国保レセプトデータ及び後期高齢者レセプトデータ）から、傷病分類別に実入院日数を集計し、傷病分類別の入院日数の構成比を比較したもの。</p>
ふたば医療センターに属する医療機関の受療傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 外来は、<b>怪我など外傷患者が3割以上</b>を占め、次に<b>呼吸器系の疾患が2割弱</b>を占める。また、<b>消化器系、循環器系疾患、内分泌系疾患</b>が増加傾向にある。</li> </ul> <p>※ふたば医療センター附属病院は、救急医療を主としている。 出典：ふたば医療センター附属病院「院内統計データ（平成30年から令和2年）」</p>
福島県版健康データベースの分析結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 相双地域では、全県と比較し、男女とも、入院では「<u>2型糖尿病</u>」、「<u>高脂血症</u>」、「<u>高血圧性疾患</u>」、「<u>虚血性心疾患（狭心症等）</u>」及び「<u>心不全</u>」で患者が多い傾向。外来でも女性の「高血圧性疾患」を除き、同様の傾向。</li> </ul> <p>※福島県版健康データベースは、主な生活習慣病である12の傷病について、福島県全体を「100」として、地域がそれよりも高い（低い）場合には、県全体と比較して地域の受診率が高い（低い）ことを示す標準化受療者出現比を用いて分析を行ったもの。 出典：福島県健康づくり推進課「福島県版健康データベース（FDB）報告書（2021）」</p>

## 主な傷病

がん（消化器系）

内分泌系疾患

循環器系疾患

呼吸器系疾患

筋骨格系疾患

外傷等